住宅改修が必要な理由書

記入要領

＜基本情報＞

利用者	被保険者番号		年齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和　年　月　日	性別	□男　□女
	被保険者氏名		要介護認定（該当に○）	要支援	要介護			
				１・２	経過的　・　１　・　２　・　３　・　４　・　５			
	住所							

作成者	現地確認日	平成　年　月　日	作成日	平成　年　月　日
	所属事業所			
	資格（作成者が介護支援専門員でないとき）			
	氏名			
	連絡先			

保険者	確認日	平成　年　月　日	評価欄	
	氏名			

＜総合的状況＞

利用者の身体状況	たとえば、移動や立上がり、姿勢保持といった生活動作に関する身体状況なのかを記述する。屋内及び屋外での移動方法（自立歩行・つたい歩き・介助歩行・歩行器利用など）を記述する。	
介護状況	家族の状況、主な介護者を含む介護状況を記述する。	
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	住宅改修によって利用者・家族は、介護状況、ＡＤＬ、社会参加など、日常生活をどう変えたいと思っているのか（特に何を希望しているか）また、その効果を記述する。	

福祉用具の利用状況と住宅改修後の想定	改修前	改修後
●車いす	□	□
●特殊寝台	□	□
●床ずれ防止用具	□	□
●体位変換器	□	□
●手すり	□	□
●スロープ	□	□
●歩行器	□	□
●歩行補助つ	□	□
●認知症老人	□	□
●移動用リフ	□	□
●腰掛便座	□	□
●特殊尿器	□	□
●入浴補助用具	□	□
●簡易浴槽	□	□
●その他		
・＿＿＿＿＿＿	□	□
・＿＿＿＿＿＿	□	□
・＿＿＿＿＿＿	□	□

改修前と改修後に想定される福祉用具の利用状況を確認する。

住宅改修が必要な理由書

＜表面の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。＞

活動	①改善をしようとしている生活動作	② ①の具体的な困難な状況（…なので…で困っている）を記入してください	③改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針（…することで…が改善できる）を記入してください		④改修項目（改修箇所）
排泄	☐ トイレまでの移動 ☐ トイレ出入口の出入（扉の開閉を ☐ ☐ ☐ ☐ ☐		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の ☐ 動作の容易性の ☐ 利用者の精神安の軽減 ☐ 介護者の負担 ☐ その他（		☐ 手すりの取付
入浴	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ その他（　　）		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止 ☐ 動作の容易性 ☐ 利用者の精神安の軽減 ☐ 介護者の負担 ☐ その他（		☐ 手 ☐ 引
外出	☐ 出入口までの屋内移動 ☐ 上がりかまちの昇降 ☐ 車いす等、装具の着脱 ☐ 履物の着脱 ☐ 出入口の出入（扉の開閉を含む） ☐ 出入口から敷地外までの屋外移動 ☐ その他（　　）		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他（　　）		☐ 便器の取替え ☐ 滑り防止等のための床材の変更
その他の活動			☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他（　　）		☐ その他

現状の改善を必要とする動作についてレ点チェックをする。今回改修の対象でない項目にはレ点チェックする必要はない。

生活動作で困っていること、問題点について、その状況や介護の現状を具体的に記述する。

①②を記入し、現状の問題点をふまえた上で、改修目的の項目をチェックする。各行為の困難事項を改善するために、どのような改修を行うのか、その方針を記述する。

様々な角度から検討し、決定された改修内容の項目をチェックし、詳細な内容を記述する。
改修箇所は、場所だけではなく「手すり」なら、「便器横壁面」等その取付箇所まで記述する。